



近年発生したH28熊本地震災害やH29九州北部豪雨災害等の大規模土砂災害の多発や、それらに伴う国・県・市の対応状況と連携状況を踏まえ、

①土砂災害防止法、災害対策基本法に基づく各機関の対応

②大規模土砂災害を含む土砂災害発生時の各機関の連携

を確認することを目的とした訓練を実施しました。

訓練は、国土交通省立山砂防事務所・富山県・魚津市等の各防災担当者及び片貝地区住民代表が一堂に会して行い、土砂災害発生前から大規模土砂災害の発生、住民避難までの一連の流れを想定した学習型の合同防災訓練に取り組みました。

【大規模土砂災害を想定した合同防災訓練】

日時：平成29年11月30日(木) 9:30~12:00

場所：片貝公民館(旧片貝小学校)

参加機関：国土交通省北陸地方整備局、立山砂防事務所、富山県、魚津市、TJSSE(立山・神通砂防スペシャルエンジニア)、片貝地区

参加人数：46名

※過年度は上市町(H25)と立山町(H27)、富山市(H28)において同様の訓練を実施しました。

災害想定

気象状況

一上空に強い寒気を伴った低気圧による**豪雨**

主な災害現象

一豪雨に伴う

同時多発的土砂災害の発生

→土砂災害による家屋被害の発生・人的被害のおそれ
→降雨ピーク頃の発生を想定

一深層崩壊による

河道閉塞(天然ダム)の形成

→河道閉塞(天然ダム)の越流・決壊(土石流発生)による家屋被害発生のおそれ
→2回目の降雨ピークが過ぎた頃の発生を想定

※魚津市内の危険個所を示す土砂災害ハザードマップは、平成29年度中に魚津市より配布する予定です。



参加機関



開会挨拶:大坂 剛
立山砂防事務所長



進行役
立山砂防事務所



富山県
土木部 砂防課



富山県
新川土木センター



魚津市



富山県東部
消防組合



片貝地区



北陸地方整備局



立山神通砂防
スペシャルエンジニア



閉会挨拶:川岸 勇一
魚津市企画総務部長



会場の様子



災害時における自機関の役割について発言する様子



シナリオ進行役



講評



富山県
土木部砂防課
課長補佐
森田 仁

10月21日に片貝地区においてワークショップがあった。そこで、地区の皆さんがたくさん参加し、活発な議論がなされ、非常に防災意識が高いと感じた。本日は、災害時にどのような対応があるか、各関係機関の役割と連携等を具体的に示していただき、非常に勉強になった。いろいろ課題があると思うが、皆さんに確認いただき、今後の防災に活かしていきたいと思う。